

議会だより

第36号

さわやかに新春を駆けぬけて



❄️ 冬の議会だより

◇主な内容

・11月、12月会議で決めたこと	2P～
・「どえーな補正予算のあと？」	4P～
・一般質問(11人が登壇)	8P～
・市民の声	15P
・議会だよりクイズ	16P

吉岐の島新春マラソン大会 (1/13)

今年からはじまったファミリーの部
「親子で達成感を味わいました。」
南相馬市から参加された親子の姿も！

11月、12月会議で決めたこと

・全会一致（全員が同じ意見）の議案

（議案と審議結果一覧表）

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
(継続審査)認定1	H23年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	(9月会議)厚生	11/5	認定
(継続審査)認定2	H23年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	(9月会議)厚生	11/5	認定
11月会議議案1	H24年度一般会計補正予算(第5号)	—	11/5	可決
議案2	H24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	—	11/5	可決
議案3	H24年度三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	—	11/5	可決
12月会議報告1	H24年度一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告	—	12/11	報告済
報告2	H23年度吉岐クリーンエネルギー株式会社に係る経営状況の報告	—	12/11	報告済
報告3	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	—	12/21	報告済
議案1	和解及び損害賠償の額の決定(長崎県知事との和解)	—	12/11	可決
議案2	和解(九州郵船株式会社代表取締役との和解)	—	12/11	可決
議案3	長崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	厚生	12/21	可決
議案4	吉岐市過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定	総務文教	12/21	可決
議案5	吉岐市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	総務文教	12/21	可決
議案6	八幡浦地区特定漁港整備工事請負契約の変更	産業建設	12/21	可決
議案7	H24年度一般会計補正予算(第7号)	予算特別	12/21	可決
議案8	H24年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	厚生	12/21	可決
議案9	H24年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	12/21	可決
議案10	H24年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12/21	可決
議案11	H24年度特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	厚生	12/21	可決
議案12	H24年度三島航路事業特別会計補正予算(第2号)	総務文教	12/21	可決
議案13	H24年度農業機械銀行特別会計補正予算(第2号)	産業建設	12/21	可決
議案14	H24年度病院事業会計補正予算(第1号)	厚生	12/21	可決
議案15	H24年度水道事業会計補正予算(第1号)	産業建設	12/21	可決
陳情1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情	総務文教	12/21	採択
議員発議1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出	—	12/21	可決
議員発議2	地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書の提出	—	12/21	可決
議員発議3	原発事故災害時の避難予測資料等に対する住民説明会の開催を求める意見書の提出	—	12/21	可決
議員発議4	吉岐市議会基本条例の一部改正	—	12/21	可決
議員発議5	議会検討特別委員会の設置に関する決議	—	12/21	可決

※ 賛否（賛成、反対）のあった議案はありません。

和解

◇和解及び損害賠償の額の決定

長崎県港湾管理条例及び長崎県漁港管理条例に規定された、フェリーターミナル可動橋の車両通過料に毎年徴収不足が生じていた。杵岐の場合、港湾施設管理者である杵岐市に九州郵船が運賃の中から航送料金を支払い、毎月市から県に納めている。

航送料金は表①のように車両ごとに定められているが、杵岐市発足以降も、これを一律27円で計算していたため支払額の不足となった。(県監査の指摘により発覚)

これを是正し和解するため、過去4年分の使用料不足額に対し、県25%・市25%・九州郵船50%の割合で賠償金を支払うことで和解した。

〈損害負担額〉

長崎県： 639,308円

杵岐市： 639,307円

九州郵船： 1,022,892円(市の委託手数料を除く)

表①

車両通過料(車両1台につき)	円
二輪自動車又は原動機付自転車	21
長さ5m未満の自動車	32
長さ5m以上10m未満の自動車	37
長さ10m以上の自動車	42



郷ノ浦港の航送船可動橋

条例

◇過疎地域自立促進特別事業基金条例の制定

過疎法(第12条)…過疎市町村が作成した自立促進計画に基づいて実施される各種の事業の財源として過疎対策事業債(地方債)を充てることができる。

この過疎法により過疎対策事業(ソフト事業分)の財源を確保するため基金(資金の積み立て)を設け、平成24年初年度は2億4千860万円を見込んでいます。



消防団郷ノ浦地区の部隊観閲(1月6日消防出初式)

◇消防団員の定員、任免、給与、服務等条例の一部改正

平成23年5月の第3期編成替えから、団長1名、本部副団長2名、地区副団長12名(各町3名)となった。今回は本部副団長の年額報酬13万円を5万円増額し、改正後・団長20万9千円・本部副団長18万円・各地区副団長13万円となった。



消防団活動の場合、地区単位での活動が主であり現場では地区副団長が指揮をとっている。副団長については本部・地区一律に報酬を上げることはできないのか。

A 本部副団長は県消防協会の評議員でもあり、今回改正の提案をしているが、地区副団長については、消防団幹部会等の今後の会議に委ねていきたい。

『どえーな補正予算のあと？』



◇一般会計

① しま共通地域通貨発行事業負担金 410万円

県内離島でプレミアム商品券を発行し、島外の観光客等の購買意欲を上げ消費につなげる事業で、商品券発行の準備作業に伴う経費負担金。



Q しま共通通貨の発行目標は。

A 全体で年間36億、壱岐では9億6千万円の商品券を発行目標とする。

※しまとく通貨…20%お得な商品券(5千円で6千円分の商品券が買える)

対馬、壱岐、五島、新上五島、小値賀、佐世保市宇久の6つの「しま」で発行するプレミアム商品券。島外からのお客様に利用して頂くというもので、壱岐の人は他5つの離島に行ったとき利用できる。詳しくは観光商工課 48-1111

② かたばる病院統合に要する経費 145万1千円

4月1日より、かたばる病院を壱岐市民病院へ統合するために必要なシステム改修費。

③ 市道維持補修事業 3,040万円

市幹線道路・生活道路の維持に係る修繕料等の増額。

④ ふれあい広場野外時計取替 110万円

グラウンドとテニスコートの間に両面ポール型の時計を設置。

⑤ 市営住宅改修事業費 640万円

石田町の大地・目坂・新中尾団地給水設備改修工事費

⑥ 郷ノ浦図書館空調移設費 220万5千円

旧箱崎中学校から郷ノ浦図書館へ空調設備を移設する。

⑦ 住宅太陽光発電設備設置事業補助金 90万円

1件6万円を15件分増額

⑧ 光通信ケーブル網危険箇所等調査 156万9千円

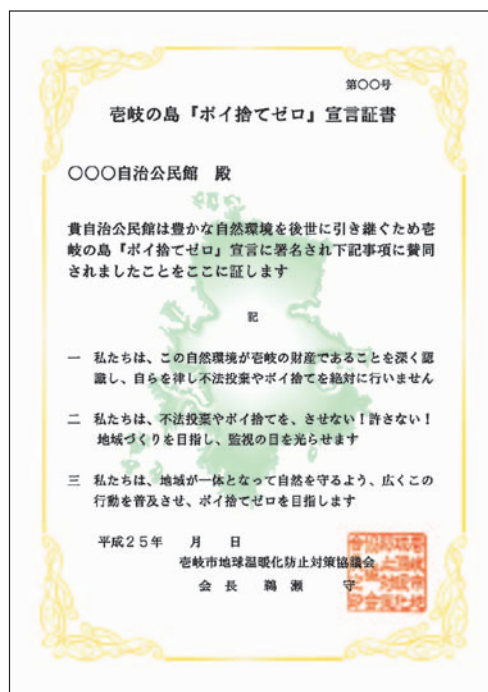
光ケーブル網(560km)の電柱・ケーブルを現地調査し、データ化・図面化で断線等が危惧される場所を把握する。



光ケーブル断線危険箇所

⑨ 清掃費 18万5千円

郷ノ浦町環境管理センターを平成24年度中に解体する事業説明のため、公害防止委員会を開催する際の委員報酬と、「壱岐の島ポイ捨てゼロ宣言」署名自治会への認定証代。



○H24. 一般会計、特別会計 補正予算額一覧

(単位：千円)

会 計 名		現予算額合計	12月補正予算額	補正後予算額合計
一	般 会 計	20,830,496	1,085,269	21,915,765
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	4,862,910		4,862,910
	後期高齢者医療事業特別会計	306,594		306,594
	介護保険事業特別会計	3,026,838	780	3,027,618
	簡易水道事業特別会計	899,298	△ 13,560	885,738
	下水道事業特別会計	402,616	△ 14,711	387,905
	特別養護老人ホーム事業特別会計	453,214	△ 3,521	449,693
	三島航路事業特別会計	123,597	1,317	124,914
	農業機械銀行特別会計	130,045	△ 1,060	128,985
	合 計	10,205,112	△ 30,755	10,174,357
一般会計、特別会計の合計		31,035,608	1,054,514	32,090,122



『志岐の水道事業に注目』

平成24年12月会議で簡易水道事業関係の補正予算が上程されたが、水道の老朽管布設替え工事を年次継続的に行っている事業に対し各議員から質問が集中した。

Q 各町の漏水率は。

A 簡易水道の
平成23年度の年間給水実績では、郷ノ浦町48%、勝本町45%、芦辺町43%、石田町32%、全体で42%。



有水率…市が給水区域に配水した水量に対して、メーター検針によって料金対象となった割合。
漏水率…有効水とならなかった水で漏れ出したとみられる割合。

Q 漏水対策について聞く。

A 日常の監視強化はもちろん、今年度から専門的な漏水調査で高い精度で漏水箇所が特定されているので次年度も継続して取り組む。

Q 水道管の布設で一番古いのはどこか。

A 郷ノ浦町では初山東触で37年前、勝本町では本宮仲触の42年前、芦辺町では芦辺浦の34年前、石田町では石田西触の40年前である。



簡易水道・門野田浄水場(郷ノ浦町)

Q 水道管の耐用年数は。

A 公営企業法では40年だが、設計基準強度では40~50年とされている。

Q 半分は垂れ流しの状態で非常におかしい、国の補助メニューをどんどん活用すべき。

A 末端の道路、墓地など日頃行かない場所等、市民の方にも巡視して頂きたい。

Q 上水道の漏水率は。

A 平成23年度、34%。

Q 漏水が多いことは利用者に対してコストが掛かっている。優先される政策課題であり、政策評価を高めるべきだ。

A 今後、政策評価に漏水対策を上げて取り組んでいく。

※簡易水道とは、計画給水人口が5000人以下の供給区域での水道事業をいい、上水道とは計画給水人口が5001人以上の供給区域で、市内では郷ノ浦町の一部が該当する。

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榊原 伸
小金丸益明、呼子 好

議案3件・陳情2件の付託を受け審査し、全議案可決、陳情を採択し意見書を提出。
 彦岐市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について、今後、消防団員の減少・高齢化が進んでいく中で、消防団の統合も検討し、本部の体制も考慮した機構改革が必要である。
 報酬について、本部副団長は地区団長と本部補佐を兼ねているので適当と思うが、地区副団長が現場の指揮をとりその責務は重大である。本部副団長との報酬の差額を調整すべきである。

予算特別委員会

委員長：深見 義輝
副委員長：牧永 護
委員：全議員
(議長・オブザーバー)

一般会計補正予算(7号)の審査について原案可決とした。
主な審議内容
Q 庁舎建設について合併特例事業債活用の予定は。
A 中長期財政計画の見通しで、平成28年度以降18億7千万円。
Q 生ゴミリサイクル事業は一般家庭ゴミか。
A 当面は事業用ゴミで対応。状況を確認しながら家庭ゴミに広げていく。
Q 防火水槽(新設)の減額補正の理由は。
A 国庫補助の決定により減額。次年度も要望する。

産業建設常任委員会

委員長：田原 輝男
副委員長：大久保洪昭
委員：牧永 護、瀬戸口和幸
中村出征雄、深見 義輝
町田 光浩

議案5件の付託を受け審査をおこない、採決の結果、全議案可決した。
審議中の意見・要望
 ・補助金等を利用してローラーを導入している畜産農家があるが、将来的に過剰投資になり経営を圧迫するので十分な経営審査をすべき。
 ・イノシシの捕獲は成果が上がっておらず、捕獲方法を検討しては。
 ・芦辺港のジェットfoil着岸場所をターミナル側へ変更する事、及び砂置き場の変更を進めてもらいたい。
 ・漂流物・漂着物の処分に対する経費等を国で負担するよう要望すべき。
 ・水道本管が個人所有地を横断している所は、段階的にも市有地に変更していくべき。

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：市山 和幸
委員：鶴瀬 和博、豊坂 敏文
音嶋 正吾、久保田恒憲

本委員会に付託された4議案は、いずれも原案可決とした。
 病院事業会計補正予算は、入院患者・外来患者の減少に伴う減額補正である。これに伴い収益も3億7千万円の減額となる。医師の確保が出来ない事が主な原因である。
 4月からは消化器内科の医師が確保できる見込みである等、改善の方向に向かっている。
 また、かたばる病院との統合や病院企業団加入に向けて、改革プロジェクト会議が発足した。抜本的な改革が進められていると判断している。

行政視察に行きました。

委員会名	派遣委員等	期間	視察先	調査項目
総務文教 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 今西菊乃 榑原 伸 議会事務局 久間 進 小金丸益明 村部 茂 中田恭一 呼子 好 	11月7日 ～9日	<ul style="list-style-type: none"> 垂水市 武雄市 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の取り組み(垂水市) 「My図書館」事業の概要調査(武雄市) タブレット端末導入の授業活用状況(武雄市)
		<p>垂水市の自主防災組織は、「自分の命は自分で、自分たちの地域は自分たちで守り、行政を当てにするな」をモットーに、防災を地域おこしへ繋げる素晴らしい取り組みであった。</p> <p>武雄市のMy図書館は、iPadやスマートフォンを使い、図書館へ行きにくい人達のための事業で、20～50歳代まで広く活用されている。タブレット型端末を活用した小中学校の授業導入により、児童の学習への興味・関心度が上がっている。壱岐市も、IT社会へ対応する教育の一環として取り入れたい事業である。</p> <p>【写真：垂水市自主防災組織の視察】</p>		
厚生 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 町田正一 豊坂敏文 議会事務局 市民部長 川原裕喜 市山和幸 音嶋正吾 米村和久 鶴瀬和博 久保田恒憲 	10月29日 ～31日	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県 有田町 福岡市 	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害者援護施設(有田町)「あすなろの里」施設の運用状況 福岡市立「松濤園」救護ホームの運用状況
		<p>知的障害者施設「あすなろの里」は、壱岐市にはない施設であり、島外32施設に60人の方が入所されている状況を改善できるのではと思いを視察した。</p> <p>福岡市立「松濤園」は、生活保護受給者で身体・精神に著しく障害がある人を対象にした救護ホーム。一人ひとりに応じた処遇計画を立て、生きがいのある自立に向けた生活をしている。壱岐も高齢化が進む中、介護状況を鑑み早急に整備する必要がある。</p> <p>【写真：福岡市立「松濤園」】</p>		
産業建設 常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> 田原輝男 瀬戸口和幸 議会事務局 大久保洪昭 深見義輝 吉井弘二 牧永 護 町田光浩 	10月28日 ～30日	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保市 福岡市 	<ul style="list-style-type: none"> 全国和牛能力共進会の応援(佐世保市) 観光関係について(福岡市) 外国人誘致、教育旅行誘致、カワイイ区の現状博多港周辺の今後の展開、壱岐市との連携等
		<p>全国和牛共進会の視察と壱岐市出品牛の応援に出向いた。壱岐市から出品された6頭は、全頭が優等賞に輝き「壱岐牛」の名声を高めた。</p> <p>福岡市では、経済観光文化局が推進する5事業の観光行政について説明を受けた。平成17年度から壱岐市職員を福岡市経済観光部に派遣しており、福岡市観光ガイドブックに壱岐の観光情報を掲載しPRをしているが、福岡市の取り組みを参考に、壱岐市の活性化につなげたい。</p> <p>【写真：福岡市築港の免税店を視察】</p>		
議会運営 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 鶴瀬和博 今西菊乃 議会事務局 小金丸益明 町田正一 榑崎文雄 田原輝男 深見義輝 	10月17日 ～19日	<ul style="list-style-type: none"> 田川市議会 鹿島市議会 	<ul style="list-style-type: none"> 議会基本条例制定後の運用状況(両市議会) 議会改革(両市議会) 子ども議会(鹿島市議会)
		<p>田川市議会は市民に開かれた議会を柱として、鹿島市議会は情報公開度全国20位にランキングされるなど、情報発信に力を入れ、本会議だけでなく常任委員会等も公開発信している。子ども議会は、子ども達の目線で市の課題や問題指摘をすることは市にとっても刺激となり実施すべきである。</p> <p>市議会と市の情報発信力の強化と情報の一元化、管理運用する万全の体制を整える必要がある。</p> <p>【写真：鹿島市議会を視察】</p>		
議会広報 特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> 町田光浩 榑原 伸 議会事務局 久保田恒憲 町田正一 土谷和美 瀬戸口和幸 呼子 好 	10月4日 ～6日	<ul style="list-style-type: none"> えびの市議会 嬉野市議会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報常任委員会の設置(えびの市) 議会改革度ランキング全国3位に至る議会広報の活用策等(嬉野市) 議会広報誌の編集方法(両市議会)
		<p>今回、2市議会を視察し「議会広報」の充実に関心をもち、市民参加型の議会を目指すための改革が求められていることを痛感した。</p> <p>えびの市議会のように常任委員会化するならば、議員全員の一致した意識改革が必要となる。嬉野市議会のように、任期中、議会活性化特別委員会と議会広報編集特別委員会のどちらにも2年間席を置くシステムについては、「次回選挙後の運営に取り入れたい」との意見が我が委員からも出ていた。</p> <p>【写真：嬉野市議会の編集室を視察】</p>		

一般質問

11人の議員が登壇



新春マラソン

瀬戸口和幸 議員



◎ 蒸気機関車が かわいそう

消防署前の那賀中央公園にある蒸気機関車は風雨にさらされ腐食が進行し無残な状態になっている。大正15年製造であるが昭和49年に国鉄OBであった旧芦辺町職員の子どもに見せたいと町を挙げての誘致活動で設置された当時の思いを尊重・継承するため修復すべき。

▲ 前向きに対応

市長

蒸気機関車は国鉄から芦辺町が管理する貸借契約もあり、修復することで検討するが、費用が多額になることが予想される。その場合、議会に相

談する。

◎ 原子力災害の 避難は

①市長は県知事に島外避難の拠点として勝本港の整備を要望しているが、整備には多大の時間等を要すると考えられ、また災害はいつ生起するか判断しないことを勘案し、市民の島外避難の具体策を勝本に固執せず他の港からの避難も考えるべき。また、避難先は県内か県外か早期に検討すべき。

が、継続的に要望する。当面は、特定事象の状況に応じて現在の港湾施設の利用、自衛隊等の防災関連機関における交通手段を用いた避難方法を考える。避難先は、隣接県等の広域連携の協議が進められており、県内または県外への避難を考える。

②市指定の避難所には情報の収集・発信のため光ケーブル回線を整備すべき。

▲ 島外避難 方法は県 と協調

市長

①避難拠点としての勝本港の整備については、県への要望は初めての事でもあり、時間等を要す



吉岐消防署前展示の蒸気機関車

音嶋 正吾 議員



合併前から整備要望のある石田町市道・錦山尻線

Q 不均衡な予算執行

①合併時の掛け込み事業優先の予算執行は是正すべき。特に石田町の道路建設着工は皆無である。消防署所管事業も著しく不均衡である。対等合併の主旨に反する。

②地域の均衡ある一体的整備上、地域審議会の開

催が必要である。開催回数が著しく少ない。何故か。

③市職員としてポストを利用して我田引水的職權乱用をしていないか。

A 均衡ある地域振興

市長

①合併前の道路改良については当初の計画通りに継続しているが、路線数や財源の都合により完了までの期間が長引いているのが現状。堆肥センター関連、一般廃棄物処理施設関連及び圃場整備関連道路以外の一般的な新規着工は市内いづれも無い。

Q 島の商店・存亡の危機

機

①相次ぐ大型小売店舗進出に対する市長の見解。

②実施状況が少ない事は遺憾に思っている。

③そうした事は、あってないと確信している。

②条例の制定は困難であるが、要綱による進出の規制は若干可能である。整備すべきではないか。

③現在進出済みの店舗に対して、所得割分の納入や地元雇用の拡大等の地域貢献対策の協力を願うべきではないか。

A 憂慮する事態

市長

①吉岐の小売店の将来を考え、大変憂慮している。

②1000㎡未満の店舗規制は困難。商工会も県議会議長、国会議員に要望書を提出しているが、大規模小売店舗法の見直し以外に方法はない。

③法人市民税は税法上、所得割分も従業員数によって納税されると理解している。

「剛毅木訥仁に近し」
(飾り気もなく誠実に取り組む)

市山 和幸 議員



Q 自主財源の確保を

公用車を有効活用して有料広告の掲載事業を推進すべき。料金設定など

A 歳入確保対策は必要

市長

現在、市封筒の有料広告や、ふるさと納税推進を行っている。歳入確保対策会議のプロジェクトを立ち上げ、事業の実施に向け調査・研究中。公用車を利用しての有料広告掲載については、実施に向け取り組む。

Q 独居高齢者に安心を

市は県のモデル事業として、独居高齢者見守り事業を25年2月から実施予定で、現在あんしんサ

A 事業継続する

市長

アンケートでは300人が利用を希望。来年度以降も介護支援事業として実施したい。

光ケーブル利用を、総務省の事業に4千500万円を要求したが、採択に至らなかった。今後しっかり研究していく。

Q 島内産の食材利用を

学校給食の島内産利用食材は約6割。もっと上げるべきと思うが、コストが厳しいなら給食費を上げてでも理解は得られると思う。市の活性化に向けて努力すべき。

A 地場産品を極力活用

教育長

給食センターの今年度4月から10月までの地場産品の活用率は69%を上回った。市の活性化のためにも安心・安全な学校給食の提供に努め、極力地場産品を活用していく。



学校給食の献立 「ひじきご飯・ひきとうし・わかめ酢の物」

ポーターを養成中であると思うが継続すべき事業である。次年度以降も県の補助対象になるのか。

また、検討中の光ケーブルを利用する安否確認システムは、どこまで進展し

小金丸益明 議員



◎空家、空地対策を

市内各地で、空家、空地が散見され、年々増加傾向にある。所有者の管理不全が原因で、近隣住民の生活環境を阻害している物件に対しては、指導勧告、命令、強制撤去等実効性のある条例を早期に制定し、住民の安心安全を確保すべき。また助成制度を活用し危険家屋の除去、優良空家の再生等、行政の積極的な関与を検討すべきである。

▲「近いうちに」やりたい

市長
問題視している。条例の制定については、検討し近いうちにやりたい。解体費用の助成は来年度から予算化を検討する。

活用可能な家屋は、Iターン、Uターン希望者等に提供できればと考える。

◎下水道の格差是正

加入時に負担金15万円徴収される地区と10万円助成される地区があり使用料も2別されている。旧町時代の政策が未だに踏襲され、不公平行政が顕在している。加入条件と使用料の格差を是正し統一した上で加入率を向上させることが急務である。郷ノ浦地区の高負担無助成は振興基金を活用して、遡りでも、清算して公平な使用料を徴収すべき。

▲矛盾は理解するが

市長

現時点での対策は打てない。平成18年3月議会での行政報告(長田市長)でも、返金はせず使用料で調整するとされている。当時、議会も承認している。なお現在、継続事業(工事)中であり、終了後なら、議論の余地はあると考える。



施工中の公共下水道工事

町田 正一 議員



◎漁業者を救う振興策を

上半期の前年度対比で15%以上の漁獲高の落ち込みがある。燃費の高止まり50%以上の水産物輸入では漁師は生活できない。

▲何とんでもやる

市長

①1ℓあたりA重油84円

①1ℓあたりの燃費、正組合員数は。

②市内の漁業での年間消費量と、70円のセーフティネット価格を設定した時の補助額は。

③現在のセーフティネットでは沿岸漁民にはメリットがない。10億程度の全国事業費では問題外。1ℓ50円からの燃費補償を強く要望すべき。

91円。正組合員数は1279人、軽油は108円、134円。

②A重油9608キロリットルで、1億4789万円の補助金になる。

③現在1137人の内、348人が利用。

県も次の2点の要望を上げています。
・原油高騰が始まった平成16年1ℓ50円の時期まで基準を下げる事。
・積立を1対1から1対3にする。

組合長会、3離島の市長と協議して何としても実現したい。

の特養の状況
③150人が待機待ちの状態にある老人ホームの増床計画は。

▲考え方は大賛成

市長

①各施設については模索するが、地域の理解が必要となる。

②公募を2月までに実施、3月中には事業者を決定し、平成26年度中には事業開始の予定。

③次期福祉計画での検討になる。独居・高齢者夫婦が将来の不安予防の意味で申し込まれているケースも多い。

◎福祉施策について

福祉施設はマンパワーの領域が大きく、雇用対策としても有効。

①介護保険法外の施設・生活保護法の救護施設や知的障がい者の厚生施設、累犯障がい者更生施設等。

②箱中跡地に予定している民間公募



芦辺漁港停泊中の漁船

牧永

護議員



がない地区は非常に難しい。このような地域にこそ行政が手を差し伸べ農業振興を図るべき。

A 糸口を見つける

市長

Q 均衡ある農地開発を
基盤整備が進んでいるが、その地域に格差がある。市長は農業振興が必要であると言われるが、現状を把握しているのか。基盤整備が終わった地区は生産組合等がでさ上昇気流にあるが、リーダー

確かに各町別の整備率に大きな差がある。行政、J A、地元が別々に進んで基盤整備を行おうとする気持の高まり、また団結の糸口を見つけるために努力したい。

Q 光ケーブルの活用

数多くの世帯が光ケーブル

ブルを利用しているが、高齢者対策についても早急に事業活用を

A 情報ネットワークを推進

市長

光ケーブルの活用については、情報ネットワーク安心サポート



原子力防災訓練(11月17日)

トなど色々考えている。高齢者の安否確認事業については25年度も申請する。

県単独の事業もあるの

Q 原発に対する説明不足

説明不足

モニタリングの数値等、今回出された規制委員会の指標などは全てに不信感がある。市長は再稼働に反対であるが、今後どのような反対運動をするのか。

A 分かりやすく広報する

市長

市長である以上、市民の安全安心のためにも再稼働は反対である。規制委員会の玄海原発からの拡散予測については私も信用出来ない。モニタリングポスト数値等の説明は怠っていたので、今後は原子力に対する分かりやすい広報を行いたい。

豊坂

敏文 議員



達は毎日毎回大変な違和感と不便さを強いられている。

今年度から校舎等の耐震化工事に併せ、下水施設への接続を早急

また、原島給食センターは浄化槽設置済

Q 給与制度の見直し

病院企業団加入のためには給与制度の見直しが必要。病院職員だけの見直しは不公平である。市職員全体を見直すべき。

A 職員全体を見直す

市長

全ての一般職員を対象に現在職員組合と交渉中

Q 下水道接続を早急に

学校施設の下水道等への接続がされず、こども

Q 公設特養ホーム

特養ホーム建設に向けた進捗状況は。

A 早急に実施する

教育長

耐震化工事と併せ、早急に接続できるよう進める。原島給食センターについては、使用する水量等を考えた中での適切な浄化槽の設置に向けて取り組む。

A 場所は湯ノ本に

市長

当初、平成24年3月完成を目指し計画を進めていたが、大震災が発生し、埋立地での見直しを余儀なくされた。

場所は湯ノ本地区に

Q 日本農業賞作物の振興

振興

第一次産業の厳しい現状の中、行政の施策を。水産については、鮮魚出荷よりも活魚販売化策を。農業振興に対して日本農業賞作物である吉岐産アスパラ振興策の初期投資に向けた行政の支援を早急にすべき。

A 支援強化

市長

市単独で昨年の9月から全国初の認定漁業者制度並びに漁業後継者対策を実施、今年10月から輸送コスト支援事業を実施中。第一次産業が吉岐の浮沈の鍵を握っており、今後も積極的に支援する。アスパラは研究したい。



アスパラの収穫

久保田恒憲 議員



4月からの病院
運営

平成25年4月から市民病院とかたばる病院を統合されるが、統合するとどんな良い病院になるのか。その準備の進み具合について説明を求める。

役割分担で進行中

市長

統合の一番のメリットは経費等重複している部分の合理化と思う。かたばる病院の入院患者の方にとっても、いち早い治療が受けられる等良い状況となる。健診の混雑等のデメリットはあるが、役割分担で取り組みを進めている。

市民力事業について

①採用された事業例を示

す等、分りやすい募集にして欲しい。

②事業を選ぶ人達の中に応募者がいるのは良くないと思うが。
③補助金を使った時はその表示をするべき。

指摘内容は検討
したい

市長

①市民にもっと理解して頂く努力をしたい。
②事業の自身で査定しているが、少し問題がありそうな気がする。
③事業広報のやり方として検討したい。

学校の優勝カップ等は
各大会で勝利を手にし

た証である優勝旗やトロフィー等、飾る場所がせまいが、展示の規則があるのか。

学校長の判断で展示

教育長

社会体育での大会が多くなり、学校への展示希望も増えている。展示スペースの関係等を考え、各学校の校長の判断であるが、子どもの励みとなり成長を促すような差別の無い展示となるよう指導する。



満杯の受賞トロフィー(盈科小学校)

鵜瀬 和博 議員



知恵を結集せよ

離島振興法改正や国体などが待ち構え、これからは特に管理職、職員の機動力、企画力が重要。士気高揚に努めるべき。

①職員提案制度と職員表彰の施行後の実績は。
②今後の取組みの具体的な内容は。
③厳しい現状打破のカンフル剤的施策が必要。現状把握のためボトムアップ式の島内関係団体による異業種交流懇話会を設置すべき。地域審議会の活用を。

積極的な提案を促す

市長

①職員の意識改革により市政の発展に寄与することを目的とし、職場や担当業務にとらわれること

なく、幅広い提案を募集。提案件数1件。表彰実績はない。

②離島振興計画の策定と定住・経済対策のソフト事業を関係部署連携し進める。
③年度内に懇話会の設置、地域審議会等も活用して、市民や団体、産業が主体として責任あるかわわりを強める協働のまちづくりを推進する。

子ども議会の開催を

各小中学校の代表者が議員になり、本市の問題や課題、将来への希望などを子ども目線で提案し、市役所や議会の仕組み、役割などを学習することで政治やまちづくりに自主的に参加する意欲が高まるのでは。杵岐ビジョンの生中継や各学校の光ネットワークの活用を。

教委主催では
厳しい

教育長

開催の趣旨、意義は十分理解できるが、時間割的な問題、その諸準備に少々課題が残り、教育委員会の主催となれば厳しい。別の組織等の主催で協力要請等があれば積極的に対応する。今後、様々な課題解決や提案を一緒に考えていく。杵岐ビジョン等の活用はぜひ、お願いする。

市としては歓迎する。

市長



昨年の盈科小学校6年生の模擬議会

呼子 好議員



◎全共成果と肉用牛振興

長崎全共に48万人が訪れ成功したが、杵岐への波及効果はあったか。

出品牛も好成績を収め、長崎和牛の名声を博したが、現在杵岐の飼育頭数が6100頭に減少している。杵岐の経済を支える肉用牛振興は大切であり、現在の補助事業の見



元気に登園「おはようございます。」

▲危機的な頭数減少

市長

全共後、秋田、沖繩、島根より視察に来島。

12月子牛市前回比105% 45万9千円、去勢50万円 超す好成績。肉用牛は農畜産物の65%、杵岐の経済に貢献しているが、高齢化による頭数減少が目立っている。J.Aを含め、生産組合等との連携を模索し、担い手育成に努める。

◎電気料金の値上げ申請

九州電力(株)は25年4月より1世帯当たり378円(8.51%)、事業者は平均2604円(14.2%)の値上げ申請している。

▲経費節減・情報開示

市長

市役所の電気料

消費者の生活、中小企業者は大きな負担増である。自然エネルギー等への推進・対策は。

直しをする必要がある。

金は67施設で年間2億4千300万円。値上げ分は2700万円となるが、原子力発電所が再稼働した場合であって、これ以上の値上げが予想される。4メガのリチウム電池を杵岐市に設置する事が決定した。

◎保育所の統一した運営

仕事を持つ若い母親の願いである。

保育所の運営を統一し、へき地保育所の預かり時間を3時から6時まで延長できないか。

保育士は154人中、正職員は23人、責任の重さからも正職員化を。また、幼保一元化の進捗状況は。

▲6時までの預かり検討

市長

柳田、志原へき地保育所は夕方6時まで預かっており、25年度の申込状況を勘案して検討する。幼保一元化子育て支援検討委員会の答申を待つ。

中村出征雄 議員



◎合併特例債の有効活用

①24年度末の合併特例債の実績は。
②25年度起債予定額は。
③合併特例債の有効活用について
④合併特例債が不足した場合の対応は。

①9年間でハード事業102億円。ソフト事業19億円の見込み。
②予定額15億円、残り5年間で25億円。
③市町村建設計画に基づく事業への活用を積極的に図る。
④現段階での限度額増額について県への要望は考えていない。

▲積極的運用を図る

市長

①9年間でハード事業102億円。ソフト事業19億円の見込み。
②予定額15億円、残り5年間で25億円。
③市町村建設計画に基づく事業への活用を積極的に図る。
④現段階での限度額増額について県への要望は考えていない。

◎市民病院の今後の見通し

①病院職員給与構造改革について、今後の取り組みは。
②今年度末の累積赤字は26億円を超え、憂慮すべき事態であるがふるさと市町村圏基金、合併振興基金からの繰入はできないか。
③病院企業団加入の可能性について
④赤字削減に合併特例債の活用はできないか。

▲企業団加入へ前進中

市長

①杵岐市全職員の給与制度の見直しで総人件費の抑制を行う。
②特定目的基金のため繰入はできない。自己資本金18億5千万円と、かたばる病院の利益剰余金等を補てん財源と考えている。
③県病院企業団の指導助言で前進している。加入時期は平成26年4月1日を希望している。
④市町村建設計画外への活用は困難と認識する。

◎障がい者洋式トイレの整備

公園等、公共施設等での障がい者用洋式トイレの整備状況と、今後の整備計画について質す。

▲計画的に整備する

市長

洋式トイレの整備状況は、公共施設46箇所中整備率は63%。公衆便所43箇所の整備率は59%。財源的な問題もあるが、利用頻度の高い施設から逐次整備していく。



障がい者にやさしい洋式トイレ

①9年間でハード事業102億円。ソフト事業19億円の見込み。
②予定額15億円、残り5年間で25億円。
③市町村建設計画に基づく事業への活用を積極的に図る。
④現段階での限度額増額について県への要望は考えていない。

「市議会に行きました。」

12月12日、鯨伏小学校6年生の皆さん12名が社会見学で市議会を傍聴をしました。

感想文の一部を紹介します。

市議会見学

今日、市議会見学がありました。ぼくは初めて市議会の様子を見ました。話し合いがとんとん進んでいくのですごいなと思いました。みんな資料を使って分かりやすく自分の意見を伝えていたのでぼくも発表するときからみたいと思います。山内 雄心

市議会を見て……

私は、市議会にも議場があることを初めて知りました。市議会のこともついでに知ったので、私には、すくなくおもしろかったです。でも、まじかで見ることができず、議員の人も、市長さんがいいる市議場のことについて一生懸命話し合っていました。市議会のことについて、議員の人も市長さんにいろいろ話していました。市議会、とてもいい場所だなと思いました。堀川 楓

初めての市議会見学

私は、初めて市議会を見ました。とても、難しい話で内容はよくわからなかったけど、知っている言葉や聞いた事のある言葉がたくさんありました。市議のために、たくさん時間をかけて、真ん中に会議していたので、すごいなと思いました。これから市議のために、たくさん頑張ってもらいたいです。今日はとてもいい経験になりました。山口 莉奈

市議会を見学してみました……

私は、初めて市議会を見ました。社会科の授業で少しなら、なければ、よく勉強してみよう。私の知らないことがあり、会場には、カメラなどがあって、テレビに私たちの映像が映っていました。とても楽しかったです。たくさん議員さんに質問させて、市長さんは大変だなと思いました。私が一番おもしろかったのは、マイクがしゅべたら光ることです。もっと市議について知りたいです。入江 七海



鯨伏小学校6年生の皆さん(市議会前にて)



私たちの願い

◇義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

全国的な教育水準を確保し安定した地方財政を構築するために、義務教育費国庫負担制度の堅持と、国庫負担率を2006年以前の2分の1に復元することを要望。

※それぞれ意見書を、内閣総理大臣外関係機関へ送付した。

◇地球温暖化対策を推進するための森林整備等に係る財源の確保を求める意見書

国全体で地球温暖化問題を真剣に取り上げ、森林吸収源対策を協力に推進し、2013年度の政府予算編成において財源確保の措置を講じ、CO₂排出抑制対策への支援を充実することを要望。

◇原発事故災害時の避難予測資料等に対する住民説明会の開催を求める意見書

「原子力災害対策重点区域指定」と「玄海原発周辺の放射性物質拡散予測図」について、原子力規制委員会、及び九州電力(株)による住民説明会の開催を要望。

市民の声

議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見や感想をご紹介しますコーナーです。

昨年、吉岐に引っ越してきて、離島ということで不安がありました。吉岐の人たちの優しさや親切な対応に日々感謝しながら娘2人と主人と毎日楽しく過ごしています。1つだけ要望があるとすれば、雨の日の子どもが過ごす(遊ぶ)場所がないことです。 29歳

年内に大きな店があちこちと開店しますが、人口の少ない吉岐、大丈夫なのでしょうかね？個人の店はどうなるのでしょうか。これからの吉岐が心配です。 60歳

2014年、国体が開催されるので「B1グランプリ」みたいな、吉岐や九州のB級グルメを招致されるならと思いましたが、大規模なイベントでなくても、吉岐の美味しいものがPRできたらと思います。 37歳

この議会だよりは読みやすく隅から隅まで目を通すと吉岐市の全てがわかります。市外に住んでいる兄弟が〇〇新聞をとって吉岐の情報を得ていますが、この冊子を送りたいな…と思っています。 64歳

仕事や学校で離れると吉岐へ再び帰る人は少ないので残念です。人口が減少していけば、ますます産業の不振、人口減少の加速はもっと早まるのでは。早急に対策をまとめないといけない課題ですね。 20歳

行政が還暦式を実施しているのは吉岐市だけなんですね！どうか、私達の還暦の時まで続いていますように。 48歳

あんしんサポーターの取り組みいいですねー！私共も高齢になるにつれ、何かと不安です。安心・安全の町づくり…応援します。 74歳



ちょっとブレイク



「わあ～大人になったね！」
成人式会場にて(1月13日)



第16回 議会だよりクイズ

志原保育所のお友だち

みゆちゃん

ピース



らいむちゃん



じゅりちゃん



せなくん



こうちゃん

第15回クイズの答え

- ①安心サポーター ②500円
 ③126件
 応募総数36人で全員全問正解です。ご応募ありがとうございました。

～第15回クイズの当選者～

- 鮎川陽子様 長嶋淑子様
 原田華恋様 堀江幸子様
 辻口あいり様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて
 図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

- クイズ** 「次の問題に答えよう」
 ○に当てはまる言葉は何かな?
- その①** 県内離島で発行されることになった20%
 お得な島共通のプレミアム商品券を○○
 ○○通貨という。
- その②** 吉岐市給食センターで吉岐産の食材活用
 率は○○%を上回る。
- その③** 吉岐市誕生から今年3月で丸〇年が経過
 する。

ヒント この議会だよりの中に答えがあり
 ますので、最初から最後まで良く読
 んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
 ハガキでご応募ください。
 議会だよりを読んだ感想や、市政への**ご意見・ご要望**
などもお書き添えください。
 ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹
 介させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円
 分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521
 吉岐市勝本町西戸触 182-5
 吉岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成25年2月28日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の
 目的以外には利用いたしません。



- 議会広報特別委員会
- 委員長 町田 光浩
 副委員長 久保田恒憲
 委員 瀬戸口和幸
 委員 榊原 伸
 委員 町田 正一
 委員 呼子 好

呼子 好

皆様、新年を迎えられ「今年も幸せな年であ
 りますように」と心から願われたことでしょう。
 昨年は議会基本条例を制定し、市民に関か
 れた議会を目指すべく、市内4か所で議会報
 告会を開催しました。皆様方の意見や提案を
 市政に反映させるため、これからも執行部に
 対し厳しい発言を行って参ります。

4町が合併し、吉岐市誕生から今年3月で
 丸9年が経ちます。

「無駄をなくし、改革を進め、知恵を絞り、
 実行する。」そう容易いことではありませんが、
 一步一步を踏みしめて市民の希望を叶えてい
 く所存です。

また、地方分権が進み、議会の果たす役割と
 責任の重大さを再認識するものであり、より
 一層、議会運営の向上を図り、努力して参りま
 す。

編集後記

○編集 議会広報特別委員会

〒811-5521
 長崎県吉岐市勝本町西戸触 182-5
 TEL : 0920-42-1111
 FAX : 0920-42-0096
 【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp
 【URL】 http://www.city.iki.nagasaki.jp

○公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
 見舞い等の金品を送ることや、
 暑中見舞い・年賀状などの挨拶
 状や有料の広告は禁止されて
 おります。

市民みなさまのご理解とご
 協力をお願い申し上げます。

吉岐市議会議員一同

お知らせ

吉岐市ホームページ
<http://www.city.iki.nagasaki.jp> の
 市議会のインデックス(見出し)を検索す
 ると、市長行政報告および議員の一般質
 問の音声を生で聞くことができます。また
 市議会会議録は、議会事務局・市役所本
 庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各
 図書館で閲覧できます。ご利用ください。

